

MOTOSU
good
things

良
い
街

FEATURE#05 かつらこ



本巣市
ヒト・モノ・コト

ヒト、モノ、コトが「良い街」をつくる。
生き生きと暮らすヒト、想いを込めてつくられたモノ、
新しくてわくわくするコトをお届けします。

[2023.03] vol.03



良い街 Vol.03 2023.3 発行 発行 = 本巣市役所 秘書広報課 〒501-1292 岐阜県本巣市文殊324 TEL = 0581-34-5040 編集・デザイン = 株式会社リトルクリエイティブセンター

FEATURE#06 寺子屋シャン

もっと知りたい

本巣の魅力

-MOTOSU no MIRYOKU-

① 本巣市が原産の果物「真桑のまくわうり」



まくわうりは全国各地で栽培されていますが、本巣市にある旧真桑村が発祥の地であると言われています。その歴史は古く、古事記や万葉集に記載があるほか、織田信長が朝廷に献上した記録も。香りが非常に豊かで、岐阜県の「飛騨美濃伝統野菜」に指定されています。7月下旬から8月中旬にかけて収穫され、JAの直売所で販売されています。また、岐阜農林高校の生徒が「まくわうりひろめ隊」を結成し、「まくわうりアイス」や「まくわうりラーメン」などの商品開発や魅力を広める活動を行っています。

② 樹齢1500余年、日本三大桜の一つ「淡墨桜」



樹齢1500余年の淡墨桜は日本三大桜の一つに数えられ、本巣市のシンボルとなっています。繼体天皇お手植えの伝説があり、つぼみのときは薄いピンク色、満開のときは白色、散り際には淡い墨色へと変化することからその名が付いたと言われています。平成30年の台風21号では大枝が4本折れ開花が危ぶまれましたが、多くの人の善意に支えられ、昨年には国の天然記念物指定百周年を迎えることが出来ました。毎年開花時期にはたくさんの方が訪れ、見る人の心に感動を与えています。

\ いいもの、そろってます。 /

本巣市のふるさと納税

毎年、全国から多くの寄付が寄せられる本巣市のふるさと納税。食料品や日用品、木製品など、魅力的な返礼品がそろっています。

鰯寿司

かつて福井から本巣市根尾へと塩漬を運んだ鰯街道があったといわれ、根尾地域では、昔から各家庭で専用の道具を使って鰯寿司が作られてきました。受け継がれてきた伝統の味を是非ご家庭でも。



鹿肉

本巣市内の山間部、広大な自然の中で育った鹿を、素早く処理しているため、柔らかく生臭みがありません。栄養価が高く、高たんぱくで低脂肪。体に優しく健康にうれしいお肉です。



詳細はこちらをご覧ください >

本巣市 ふるさと納税



数学問題

VOL.03

楽しみながら、考える力をUP ↑

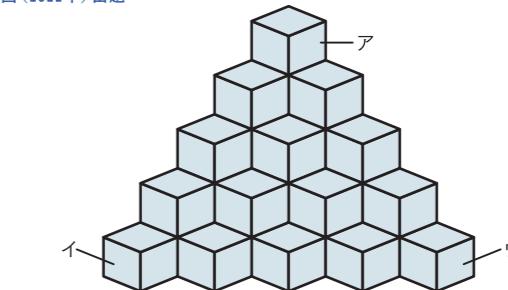
日本数学の父「高木貞治博士」の出身地にちなみ「数学のまちづくり」を進めている本巣市。数学の面白さに浸り、楽しみながら「論理的な思考」を高める様々な取り組みをしています。論理的な思考は、的確な判断や表現力、説得力に直結し、人生を幸せにたくましく生き抜くために必要な力です。このコーナーでは、本巣市が実施している「算数・数学甲子園」の過去問をご紹介します。ぜひチャレンジしてください!

Question

1辺の長さが1cmの立方体の白い積み木を下の図のように下の段から15個、10個、6個、3個、1個となるように合計35個をすき間なく重ねて高さが5cmの立体を作り、表面を赤くぬりました。この立体の下の面も赤くぬってあります。その後バラバラにくずしたところ、ア、イ、ウの位置にあった3個の積み木は、5つの面が赤くぬられていました。

- ① 4つの面が赤くぬられている積み木は、何個あるでしょう。
② 2つの面が赤くぬられている積み木は、何個あるでしょう。

第25回(2022年)出題



答えは
市HPをチェック /

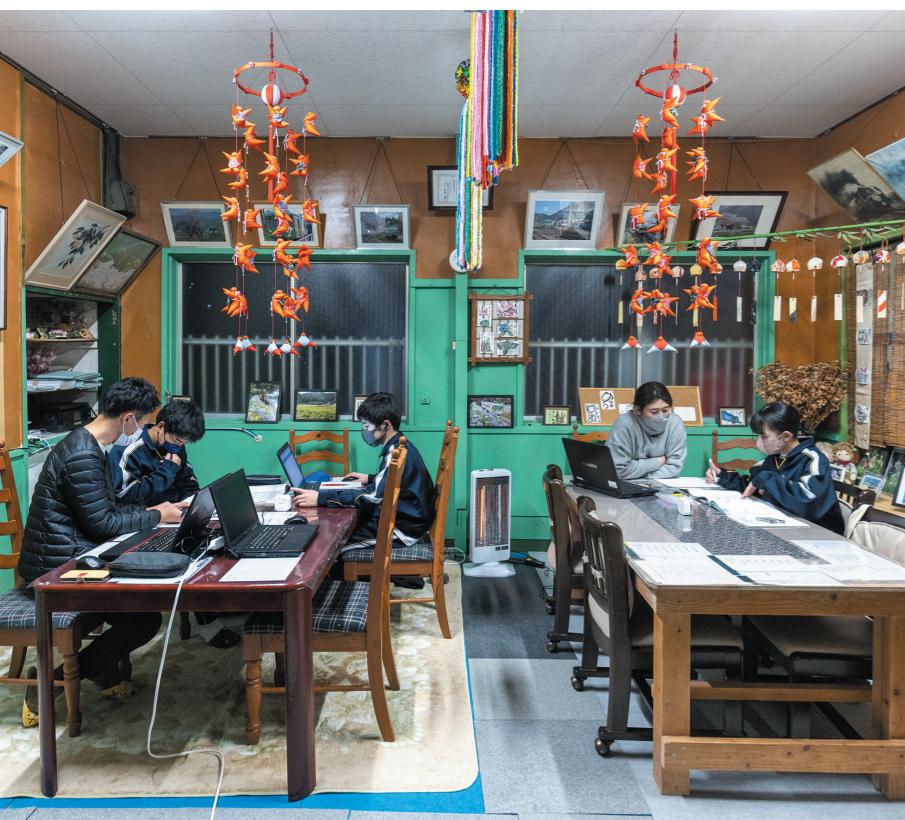


FEATURE #06 本巣市の ヒト・モノ・コト	NAME 寺子屋シャン <hr/> CATEGORY <input type="checkbox"/> ヒト <input type="checkbox"/> モノ <input checked="" type="checkbox"/> コト NOTE 地域活動
--	---

FEATURE — #05 本巣市の ヒト・モノ・コト	NAME かつらこ						
<hr/> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"><tr><td style="width: 15%;">CATEGORY</td><td style="width: 15%; text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> ヒト</td><td style="width: 15%; text-align: center;"><input type="checkbox"/> モノ</td><td style="width: 15%; text-align: center;"><input type="checkbox"/> コト</td><td style="width: 15%; text-align: right;">NOTE</td><td style="width: 15%; text-align: right;">絵本造形作家</td></tr></table>		CATEGORY	<input checked="" type="checkbox"/> ヒト	<input type="checkbox"/> モノ	<input type="checkbox"/> コト	NOTE	絵本造形作家
CATEGORY	<input checked="" type="checkbox"/> ヒト	<input type="checkbox"/> モノ	<input type="checkbox"/> コト	NOTE	絵本造形作家		

山間地域の教育の未来を変える一歩。

シアンがあるのは市内でも山あいの
外山地域で小学校が1校のみ。小学校の
全校生徒は37人、最寄りの学習塾までの
交通手段は車のみで往復40分。保護者か
らの「塾が欲しい」という一言を耳にした
ことをきっかけに、この地域の教育環境
を改めて見ると、河合さんは自らも親と
して「教育環境格差」を感じずにはいられ
ませんでした。こうして突如始まった寺
子屋開講計画に、コロナ禍で利用できな



週3日、夕暮れ時になると樽見鉄道神^{みかみ}海駅の旧駅長室に地域の小中学生たちがやってきます。この日「寺子屋シアター」に集まつたのは、全生徒8人（小学生2人・中学生6人）のうち4人。リビングティー^{ティ}ブルに教材とパソコンを広げ、各自勉強を始めます。オンライン授業を受けたり、問題集を解いたり、時折会話を挟みながらも黙々と学習に励む子どもたち。子どもたちと一緒にテーブルを囲み、学習をサポートするのがシアンを運営する河合^{なつき}達郎さんです。

2021年4月に本巣市の地域おこし協力隊に就任した河合さんは、その活動の一環として2022年5月にシアンを

となり、その活用方法を模索していた神海駅旧駅長室サロンスペースの状況がちょうど重なり、樽見鉄道から場所を借りて「寺子屋シアン」が誕生することとなつたのです。今は、河合さんのほかに市内で林業に携わる長屋優^{ゆう}さんも、子どもたちの役に立ちたいと学習サポートの手伝いをしています。

教育格差の解消、空きスペースの利活用、そしてこの場所のもう一つの大きな意義が子育て世代の移住促進です。河合さんは自身が経験したように、子育て世代が移住先を選ぶときに選択の基準となるのが「なりわい」と「教育環境」。特に、教育環境は個人の力で変えることが難しいのが現実です。関わる人が限定される小さな地域では、学校以外に大人と触れ合つたり、仲間と切磋琢磨する場所をつくることが子どもたちの成長過程において重要だと河合さんは考えます。「この場所でみんなと一緒に学ぶことで、学力を伸ばす以上に勉強のおもしろさを感じほしい」。小さな寺子屋がこの地域の教育の未来を確かに変えようとしています。

PROFILE
1974年本巣市生まれ。名古屋芸術大学洋画科卒業。2003年に第21回新風社出版賞ビジュアル部門で絵本『かっぱたのうとさかなぶえ』でハミングバード賞を受賞し、絵本作家デビュー。以後『ライオンはかせのはなやさん』『ながいなが~い』などの絵本を出版。招き猫や張り子のお面、陶器、オブジェなどの造形作品も制作する。

「高校では美術部の部長を務め、その後名古屋芸術大学へ進学し、油絵を専攻。卒業後は絵の道に行きたい想いがあつたものの、生計を立てるため春日井高等養護学校（現春日井高等特別支援学校）で芸術や陶芸の講師を務めました。「仕事 자체は楽しかったのですが、絵を描く時間が取れなくて。講師の仕事は辞め、ちょうど大学時代の先輩から誘われていた造形絵画教室の先生をしながら絵本の制作を再開しました」。創作を続けること4年。晴れて、2003年に『かっぱたろうとさかなぶえ』が出版社の賞を受賞し、絵を依頼されて。自分が描くもので人を幸せにできることが嬉しくて、絵本作家を志すようになりました」。

「現存する全ての絵巻物の中でも、この『本巣』が
つらこさん。ふるさとの風景は、今でも
創作意欲をかきたてます。「本巣にいた
頃、早朝に山を登る時に射す日の光が、
天使が天に向かうよう見えて。そんな
天使と、お寝坊の太陽のお話が描いてみ
たいです」。近年は書籍のデジタル化が
進み、プロの絵本作家でも新刊の出版は
難しい状況。現在の仕事も、絵本以外の
制作の割合が多いと言います。それでも、
かつらこさんは自分の経験や想いが詰
まつた、新たな絵本の創作に意欲的です。
「永く人の心に残る、人を元気にする作品
を作りたいんです」。故郷の思い出と、少
女のような自由で柔軟な発想から生み出
されるかつらこさんの作品。新たに出会
えるのが、今から楽しみです。



豊かな創作につづく
ふるさとの記憶。

— 1 —

『かつばたろうとさかなかぶえ』に『ライオンはかせのはなやさん』『ながいながうい』で知られる絵本造形作家・かつらこさん。本巣市の読書通帳や図書館のキャラクター「ハツミー」・「ハツミーライ

し、絵本作家としてデビューを果たしたのです。